



# 議会だより

かたしな

No. 124 平成22年 5月20日発行



PHOTO

新入生1人の入学式…武尊根小学校

## 主な内容

平成22年度予算・平成21年度補正予算……………	2～3
3月定例議会で決めたこと……………	4～6
村政を問う 5名が一般質問……………	7～10
第2回臨時議会……………	11
議会活動日誌・編集後記……………	12

# 平成22年度 片品村

# 予算案可決



尾瀬大橋公園整備予定地

一般会計の予算額のうち自主財源比率は、27.1%で、交付税等の依存財源比率は、72.9%です。  
特別会計は、前年比101.5%だが一般会計から全体の23%を繰り入れていません。  
限られた財源を有効活用して明るく元気な村づくりを進めましょう。

## 平成22年度 片品村一般会計

# 32億1,400万円

前年対比  
97.6%

### 歳入

自主財源 (27.1%) 8億7,062万円	依存財源 (72.9%) 23億4,337万円
---------------------------	----------------------------



### 歳出



### 《平成22年度予算の主な事業》

- ・子ども手当 ・緊急雇用創出基金事業 ・かたしな子ども学校事業
- ・尾瀬大橋公園整備事業 ・除雪車購入 ・鳥獣侵入防止策設置事業
- ・雇用再生特別基金事業 ・消防自動車等整備 ・参議院選挙



## 片品村予算総額(特別会計含む)

47億9,079万円

前年対比  
98.8%

## 特別会計

単

会計名	予算額	一般会計繰入金	前年対比	備考
国民健康保険	825,640	56,840	106.1%	
老人保健	562		72.2%	
簡易水道事業	84,550	9,351	89.8%	
観光施設事業	124,426	119,000	83.6%	収益的収入のみ
介護保険	357,788	52,482	104.5%	
下水道事業等	137,307	114,433	99.8%	
後期高齢者医療	46,518	18,815	90.2%	
合計	1,576,791	370,921	101.5%	

## 平成21年度 補正予算

単位：千円

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計(第6号)	3,847,941	159,300	4,007,241
国民健康保険特別会計(第3号)	805,087	44,262	849,349
老人保健特別会計(第2号)	52,792	△3	52,789
簡易水道事業等特別会計(第3号)	110,573	△6,934	103,639
観光施設事業特別会計(第2号)	(収益的収入)127,149 (収益的支出)補正なし	0	127,149
介護保険特別会計(第3号)	362,333	13,059	375,392
下水道事業等特別会計(第2号)	144,009	△2,320	141,689
後期高齢者医療特別会計(第2号)	51,792	△6,767	45,025

※ 観光施設事業特別会計の収益的収入補正額は、収入科目変更のみで実質収入増減なし  
 ※ 一般会計に1億4,734万円の国庫補助金(地域活性化・経済危機対策、公共投資、きめ細かな臨時交付金)が交付された。財政調整基金積立金に1億6,092万円を積み立てた。

## 繰越明許費

単位：千円

款	項	事業名	金額
		防災情報通信設備整備事業	7,338
		住民センター等トイレ水洗化事業	10,000
		議事堂音響整備事業	10,000
総務費	総務管理費	庁舎屋根整備事業	10,000
		役場駐車場整備事業	11,500
		地デジ難視聴解消事業	40,289
		土出・戸倉地区光ケーブル敷設事業	119,000
民生費	児童福祉費	子ども手当システム開発事業	3,255
		片品保育所外部フェンス取替事業	2,000
		片品南保育所落雪防止事業	3,000
衛生費	保健衛生費	健康管理センター屋根整備事業	3,000
		寄居山温泉センター修繕事業	9,533
		花の谷公園内通路整備事業	9,250
土木費	道路整備費	村道整備事業	1,050
		除雪車格納庫整備事業	67,800
	住宅費	村営住宅整備事業	12,450
教育費	保健体育費	村民テニスコート整備事業	1,500

※ 繰越明許費(前年度予算を用途と金額を明らかにして平成22年度に繰り越す費用)

# 3月定例会

3月4日(木)から12日(金)までの9日間の会期で開催しました。22年度一般会計・特別会計予算案を含む議案31件、人事案件1件が上程され、原案のとおり可決しました。初日の一般質問では5名が登壇し、村の姿勢を問いました。



## ◇教育委員会委員の任命

飯塚欣彦教育長が任期を3年残して辞任することに伴い、その後任を任命するための処置です。総務課長の星野準一氏が教育委員として提案され、全員の同意が得られました。

## 条例の制定・一部改正

- ◎公益法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正  
群馬県農業共済組合が充足し、利根沼田農業共済組合が統合されたため改正するものです。(全員賛成)
- ◎職員給与に関する条例の一部改正  
人事院勧告に基づいて改正するものですが運用は長時間勤務と費用負担を減らすことを目的とするものです。(全員賛成)
- ◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
人事院勧告に基づく時間外勤務手当の見直しが生じ、これに関連してこの条例の改正をするものです。(全員賛成)
- ◎職員の育児休業に関する条例の一部改正  
人事院勧告に基づく時間外勤務手当の見直しが生じ、これに関連してこの条例の改正をするものです。(全員賛成)
- ◎奨学資金貸与に関する条例の一部改正  
奨学資金貸与額が国立大学の授業料に足りるよう引き上げるものです。(全員賛成)
- ◎映写機使用条例の一部改正  
映写機の貸出規定に関連機器を含めるようにするものです。(全員賛成)
- ◎小口資金融資促進条例の一部改正  
小口資金の借換制度を1年間延期するものです。(全員賛成)
- ◎道路占用料徴収条例の一部改正  
電柱等、道路の工作物等の占用料の改正が国及び県で行われたので村もこれに合わせてするものです。(全員賛成)
- ◎消防団条例の一部改正  
消防団員の加入年齢を45歳までから55歳までに引き上げるものです。(全員賛成)
- ◎市町村総合事務組合・市町村会館管理組合・後期高齢者広域連合の規約変更  
六合村が中之条町と合併したための文言整理です。(全員賛成)
- ◎村道路線の認定と廃止  
掛淵橋・橋谷橋の新規掛け替えに伴い必要となった村道路線の認定と廃止です。(全員賛成)
- ◎指定管理者の指定  
東小川にある老人憩いの家管理を引き続き第4区にお願いするものです。(全員賛成)

## 請願陳情審議結果一覧表

3月定例会において審議された請願陳情は、下記のとおり決定しました。

### 請願

受理年月日	件名	請願者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
平成22年2月16日	平成25年度開催の(財)日本中学校体育連盟全国中学校体育大会冬季大会スキー大会の誘致並びにクロスカントリーコース整備に関する請願	片品村スキー場連絡協議会 会長 星野 寛 ほか	萩原 日郎	総務文教	継続審査 (クロカンコース整備)

### 陳情

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成22年2月15日	核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について	平和市長会議会長 広島市長 秋葉 忠利 ほか1名		議員配布
平成22年2月26日	改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情	全国青年司法書士協議会 会長 小山田 泰彦		議員配布



## こんな質疑がありました

【片品村職員の給与に  
関する条例の一部改  
正】

質疑（吉野 勲議員）

村は、この条例改正を、どういう根拠でやろうとしているのか。給与を上げてその負担を少なくするというのは、非常に分かりにくい。

答（総務課長）

時間外勤務手当の割増となる人事院勧告だが、総給与抑制と職員勤務条件の改善を目的としたものです。その観点から、村は時間外勤務を長時間させないことで費用負担を押さえるものです。

質疑（星野育雄議員）

この時間外勤務手当は、職員給与全体の何%を占めるかたちで、支給されているのか。

答（総務課長）

当初予算編成時点では、総給与に対し予算として確保する時間外勤務手当の割合は決ま

っています。時間外勤務をすべて金額精算をするのではなく、した時間についての休暇を取って買って支給に変えるものでして、それなりの成果を上げています。

補正予算の中に、年度末です。人件費についても増減があります。執行残については、減額補正の提案を

していますが、その中にも時間外勤務手当の減額をする補正予算が組まれます。

支給の割合は、手元に計算したものが、当初予算で確保した額に対して減額補正をお願いをするということです。

【片品村奨学資金貸与  
に関する条例の一部  
改正】

質疑（萩原日郎議員）

この提案を評価しますが、この金額を設定するにあたっての会議は開かれたのか。

答（教育長）

村は、貸与についての審査委員会でのいる

いろいろな意見を参考にし、内部で検討し、村長が金額を決めるといふ考え方で、今回改正をしました。今後も委員会での意見を参考にさせていたたくという考え方です。

質疑（大竹文夫議員）

親は返済するケースもあるのか。返済猶予とか、返済の実態はどうか。

答（教育次長）

誰が返すかという調査はしていません。猶予の手続きを村にしてきたケースはありませんが、ほぼ順調に返済していただいています。

質疑（大竹文夫議員）

貸与型から返済の要らない給付型へ奨学金を転換するよう検討されるべきではないか。

答（教育次長）

文部科学省の管轄の日本学生支援機構によると、奨学金の給付型導入はなかなか難しいということ。貸与型にしたいようです。現時点では、給付型は難しく、すぐできないと考

えています。

片品村では、貸与の方法でやっていて、税金を原資にして相互扶助の精神で、この制度が成り立っています。この制度が更に充実するよう当面図っていただければいいのではないかと考えます。

【平成21年度片品村一  
般会計補正予算】

質疑（飯塚美明議員）

基金現在高調査によると、平成21年11月の基金の現在高は、繰替運用となっていた観光施設事業への短期貸付金6億5千万円を平成20年度に精算したため11億7,458万円であるとなつている。

つまり11億7,458万円から平成17年度の実質的基金現在高5億1,381万円を差し引くと、6億6,077万円が村長就任時に比べて増加したと読み取れる。

そして、今回の補正で1億6千万円が積み増しになるといふことか。

答（村長）

私が村長に就任した平成17年11月当時、一般会計基金の中の使える財政調整基金は、2億2千万円でした。

21年度の今回、また1億6千万円余りを積み上げていただくので、10億円を超えるのは間違いない。私としては、一つの目安として10億円は欲しいとの考えがあり、それを越えることができた。

質疑（飯塚美明議員）

平成21年11月末の財政調整現在高は、8億7,495万円。これに1億6千万円をプラスすると、10億円を越えるわけですね。

答（村長）

もう少し細かく説明すればよかったのですが、確かに就任した時、もう財政は破綻状況だったので、財政改革を大胆に進めた。これからもしつかりと無駄を省きながら、財政運営をしていきたい。

【平成22年度片品村一  
般会計予算】

質疑（笠原耕作議員）

新規事業で、宿直委託業務が行われるが、庁内の情報管理また災害時の危機管理は問題ないのか。

答（総務課長）

ご指摘の危機管理体制等について十分詰めの作業等を行って、問題のないように対処する準備をしています。

質疑（星野侃三議員）

県下の町村で宿直業務の委託を行っている自治体はどのくらいあるのか。

答（総務課長）

群馬県下では下仁田町です。

質疑（星野育雄議員）

本村は観光立村をうたっており、夜間勤務には電話の問い合わせ等も多いと思います。村のイメージダウンにならないよう特段の配慮をしていただきたい。

答（村長）

今まで宿直業務は、若い人たちが中心となつて行ってきた。しかし、私の就任時と



比較すると、4月になると、延べ20人以上の正職員が削減になり無理がある。心配しているようなことのないように、十分に配慮して行ってまいりたい。

**質疑** (飯塚美明議員)

古い学校図書はどの程度毎年更新しているのか。

図書購入費として国からどの位の地方交付税があるのか。

図書購入費の年間の予算と、これからの図書整備計画は。

**答** (教育次長)

国が定めた各学校の基本図書数があり、5か年計画で半分を整備します。例えば、片小ですと2,780冊を5か年で整備をしたいという考え方です。

片品村の21年度の図書購入費としての交付税は、小学校4校の合計で120万円、中学校で68万9千円です。それから年間予算の関係は、22年度につい

ては、片品小学校は67万円、そのほかの小学校には55万円、中学校は95万円、合計で327万円を計上しました。平成19年度から5か年かけて整備をしているので、22年度が4年目になります。

**質疑** (大竹文夫議員)

今後の交付税の問題点と見通しについてどうか。

地方交付税は、100%自主的に使える財源であると思いますが、しかし実質的にそれが補助金化されている側面がかなり強くなっている。片品村においてそういう問題は現在あるのか。

**答** (村長)

地方が不利になるような問題がおきた場合には、全国町村会等が国会に訴えるといった行動を常にやっております。

**答** (総務課長)

国は、地方交付税について、その原資となる国税収入が、23年度以降非常に厳しいとい

う見方をしております。また、補助金化については、交付税の使途は明記してない。

**【平成22年度片品村国民健康保険特別会計予算】**

**質疑** (大竹文夫議員)

今回は国保税の値上げを押さえて予算を組まれた。

毎年5千万円くらい給付費が増えている。今後の問題として国保会計について、どういう対策を考えているか。

**答** (村長)

こういう不況の中で、すから極力負担を求めないために、一般会計から持ち出しをしている。

今後のことは、議員の皆さんと、あるいは国保運営委員会の皆さんと相談させていただきながらこれに努めていきたい。

今年日本宝くじ協会より7,600万円の助成金をもらうことにより、尾瀬大橋下の公園作りができ、給付費の減少につながればと思います。

**【平成22年度村営観光施設特別会計予算】**

**質疑** (星野育雄議員)

オグナほかかスキー場の施設使用料が、1,494万円計上されています。

消費税納税額を200万円みていますが、この整合性は、尾瀬ロッジの施設使用料は、555万円と聞いていますが、588万7千円の差額は。

**答** (むらづくり観光課長)

今年度の実績90%を見込み、1,494万円、消費税200万円を前年の実績にならない計上しています。

尾瀬ロッジの使用料について差額33万7千円は、敷地賃借料を村特別会計で立替払いにするものです。

**【平成22年下水道事業等特別会計予算】**

**質疑** (大竹文夫議員)

合併浄化槽も含めた村による何らかの取組の仕方あるいは上下水道含めて一括してどうにかできる計画がある

のか。見通しと、村側でお考えがあるのか。

**答** (村長)

担当課長に加入促進を進めるようにと、常に指示をしています。

**答** (農林建設課長)

下水道担当の補佐それから下水道担当の2人で集中的に回っています。

**【教育委員会委員の任命】**

**質疑** (笠原耕作議員)

教育長の辞任については、当初から県との約束で2か年というようなことがあったのかどうか。

**答** (村長)

県のほうで、「今年度いっぱい、返してほしい」と言ってきた。

**質疑** (笠原耕作議員)

村長は、任命権者でありますので、責任はどのように考えているのか。

村の教育行政について、今後どのようにされるのか。

**答** (村長)

度重なる教育委員の人事案件のお願いをしたことで、迷惑をかけたことお詫びします。片品村の教育振興基本計画であります。この計画を22年度中に作成する中で、素案を基本として取り組んでいきたい。

**質疑** (高橋正治議員)

唐突ともいうべき退任について、村長はどのようなお考えをお持ちなのか。

群馬県との調整において村長として最善最大の努力をしたのか。

**答** (村長)

村の教育振興基本計画が完成するまでとはいってほしいと了解を得て、県にいま1年お願いするというかたちできた。教育振興基本計画も素案ができ県の幹部ともあるいは飯塚教育長とも話をし、今後でもできる限り片品村のために力を貸していただくようお願いしてある。



# 村政を問う

## 5名が一般質問

星野 育雄 議員



### ◆道路及び橋梁整備について

### 塗川橋架け替え調査費計上



幡谷出入口の塗川橋

**問** 第3次片品村総合計画の道路事業として定めた、村道・農道・林道など村内道路の長期的・総合的な計画は樹立してあるか。

**答** 基本方針では、国道120号、401号、主要地方道水上・片品

線などの幹線道路の拡幅改良、金精峠の年間開通、椎坂峠のトンネル化、ピューポイントの整備などを国・県に要望するとともに、安全で美しいユニバーサルデザインの道づくりなど、村道・農道・林

**問** 御座入橋の架け替え工事は平成22年度に一部上部工に取りかかる見込みですか。

**答** 塗川橋は生活道路として長い間利用して

来ましたが、現在では重量制限を設けて通行しています。この橋を利用しております幡谷地区は、ほかに迂回路もなく、この橋が唯一の生命線となっており大変重要な橋です。このため塗川橋の整備については特に優先的に整備を進めたいと考えています。

**問** 用地交渉や調査を実施した結果により実施可能であれば地元からの長い間の要望に応え、是非とも進めたいと考えています。

**答** 関係地権者の土地使用（寄付）承諾書が村長に提出されれば、平成22年度に調査・設計をし早期着工をしていただけるか。

**問** 何としても早く着工したいと考えています。平成22年度の予算の中に調査費を計上させていただいております。土地交渉等が順調に進めば村としても、それに着手していきたいと考えています。

### ◆要介護認定者対策について

**問** 村民で要介護認定者は何人か。

**答** 178人です。

**問** 内、介護保険で入所できる施設入所者は何人か。

**答** 介護老人福祉施設40人、介護老人保健施設20人、介護療養型医療施設1人の計61人です。

**問** 特別養護老人ホーム入所待機者は何人か。

**答** 48人です。

**問** 介護老人福祉施設（特養）の増床または誘致が出来るか。

**答** 施設の誘致、増床につきましては、可能なか無理なのか、相手様の考えもあると思えますので状況を勘案しながら今後検討してまいりたいと考えています。

### ◆観光客増加対策について

**問** 冬期間の観光客としてオーストラリア、中国、韓国等の外国人の誘致に取組めないか。

**答** 片品村では昨年、英語、韓国語、北京語のパンフレットを作成しました。幸いにして片品村には最も受け入れやすい台湾において人脈があり昨年からは群馬県とも連携を取りながら取組を始めています。

**問** 春から秋の観光客として、都市の教育委員会や学校と連携して農村農業体験学生客誘致に取り組めないか。

**答** ターゲットとしては、つながりの深い上尾市、蕨市、藤沢市等の教育委員会や学校とすでに取り組みを始めております。観光と農業を主産業とする片品村では、この体験農業型の旅行形態を全村あげて取り組まなければならないと考えております。



戸丸 廣安 議員



### ◆地域伝統文化伝承事業のDVD完成が村史につながるか

教育長 村史改訂には既存資料の見直しと新たな資料の発掘ならびに村民の協力が必要

**問** ふるさと文化復興事業「地域伝統文化伝承事業」はどのような形になりますか。

**答** これは、平成20年度文化庁の補助事業で、「片品村の暮らしと伝統文化」という冊子を作成し、各家庭に配布しました。付録のDVDには、秋から冬の村内の祭りや行事、暮らし



ふるさと文化復興事業作成のDVD

末には配布できると思います。

**問** 今後、それをどう活用していくのか。

**答** 今回の取り組みは、映像を通して地域の伝統や文化の価値を再発見するとともに、継承や復活といった活動を通して地域の活性化の一助になればと考えます。

の映像が映像で紹介されています。21年度も文化庁の補助を受けて春から夏の撮影を行い、併せて、1年を通じた「片品村の暮らしと伝統文化」を映像で紹介しております。

**問** DVDの完成の時期は、

**答** まもなくDVDが完成いたしますので、3月

教育委員会では、この映像を多くの方にご覧になって頂くため、昨年購入した大型スクリーンとプロジェクトを利用し、今後、様々な機会をとらえて上映会を考えています。

また、文化財調査委員の協力を得て、村内の文化財を紹介した小冊子の再発行や文化財めぐりの実施などを計画しています。

平成22年度予算にはその必要経費を計上しました。

**問** これが長年の待望の村史と事実上なるのか。それともその作成のための大きなステップとなるのか。

**答** 今回の事業で得られた民俗の分野に係る資料は、今後、大いに活用できますし、次へのステップとなるでしょう。

村史改訂には、これまでの資料の見直しと新たな資料の発掘が必要で、そのため、まずは村史編さんの必要性について、村民の皆様との理解と協力を得ることで、

今後、関係者と十分連携を図りながら、これらを検討する体制づくりから着手したいと思います。

飯塚 美明 議員



### ◆子育て支援について

**問** 平成22年2月1日の県移動人口調査では、片品村に住んでいる人口は4,984人。

少子化が進み、毎年100人位の人口減少があり10年後の片品村の人口は、4,000人を切る事が予想されます。

そこで、千明村政の2期目最初の予算組における「子育て支援に対する施策と予算付け」についてお答えください。

**答** (保健福祉課長)

★医療費の無料化 2,158万円

★対象は中学校卒業まで

★子ども手当の支給 8,177万円

★支給対象中学校卒業まで

★出産祝金の支給 270万円

★第3子以上の出産に30万円を支給

★第3子以降保育料減免事業 203万円



お母さんみんな集まれ(健康管理センター)



★国保加入者の出産育児一時金  
546万円

★福祉医療費の扶助  
269万円

★母子保健事業  
390万円

★妊婦検診、乳児検診等  
1億1,882万円

★保育所の運営  
1,094万円

★児童館の運営  
総額2億5,620万円です。

1,094万円  
総額2億5,620万円です。

答(教育次長)

\*村長の公約である

“かたしな子ども学校”

382万円

\*複式学級解消推進事業

135万円

\*図書室運営事業

114万円

\*団体への補助金

162万円

\*奨学金貸付事業

450万円

を基金へ繰出す

\*通学費補助事業

815万円

\*ひとり親家庭への就学援助費

310万円等で、  
2,456万円

答(むらづくり観光課長)

◆通学バスへの補助金  
片品中学校・丸沼ス

キー場線

236万円

片品中学校・戸倉ス

キー場線に

222万円

◆後継者の支援  
対策について

問 少子化対策のうち

一つの取組となります

後継者の結婚対策につ

いて質問します。

片品村における未婚

率はかなり高い状況で

あると予想しています。

プライベートの問題

だから村は関知しない

では済まない状況に現

在あるのではないかと。

片品村の男性・女性

の25歳から45歳までの

人口と、その中でどの

位の人が独身者ですか

そして、結婚支援につ

をこ答弁ください。

答(住民課長)

住民基本台帳本年1  
月末現在、25歳から45

歳までの総人口は1、

038人、あくまでも

推計数値ですが、42

0人位の独身者がいる

と見込まれます。

答(村長)

結婚支援は少子化対

策のみにとどまらず、

村の将来を左右する大

きな課題であり、喫緊

の取組が必要です。

独身男女の多くが良

い相手があれば結婚を

望んでいるとの調査結

果もあります。

片品村としても、ぐ

んま赤い糸プロジェクト

と連携し、積極的に

支援をしていく考えで

す。

また、村独自の支援

策も実施する必要があります

と考えています。

問 片品村が、交流の

深い上尾市・葦市・練

馬区の自治体の方々に

協力をいただき、この

取組ができれば、「自治

体がやっているので安心」という評価が生まれると思います。  
結婚推進協議会的なプロジェクトを作って、現実的な取組をお願いします。



星野 侃三 議員



◆高齢者医療の  
公費助成と  
納税方法に  
ついて

問 肺炎球菌ワクチンに、公費助成はできるのか。

納税について高齢者の家まで取りに来てくれるのか。

答 肺炎球菌ワクチンについては、財政状況や国の動向も踏まえ、前向きに検討していきたい。



総合検診の様子

また、納税については、自主納税が原則ですが徴収係員が必要に応じた状況判断のもとで、個別訪問の折に、高齢者を含めた村税の徴収にあたっております。今後も引き続き実施していきたい。

星野 千里 議員



◆ 片品村教育振興基本計画の総論をまとめた後の取り組みは。

教育長 詳細な検討を踏まえ、平成22年度末には同計画の策定に至りたい。



中央公民館図書室での読み聞かせの様子

**問** 片品村がめざす教育の姿と実現のために教育振興基本計画を策定していると思うが、まずその経過は。

**答** (教育長)

国の教育振興基本計画を受けて、片品村では平成21年度から2カ年をかけて計画を策定することとし、この程その総論をまとめたところですが。

基本的な施策の考え方については、本年1月以降、この素案につきまして、村内外の教育関係者にもご意見を頂戴し、議論を重ねて来ました。それを受けて、6つの基本施策を掲げました。

第一は、「安心・安全に学べる環境」をつくる。

第二は、「確かな学力」を身に付ける。

第三は、「豊かな心」を育てる。

第四は、「健やかな体」をつくる。

第五は、「ふるさと片品を愛する心」を育てる。

第六は、「人のつながりを大切にしたい学びあい」を進めることです。

このような考え方で、片品村教育振興基本計画の総論をまとめたところですが。

**問** 今後の取り組みは。

**答** 今後の予定ですが、

この総論の内容については、必要なデータと併せて、村のホームページで公表し、村民の皆様にも意見を求めていきます。

また、教育委員会では、4月以降、地区別に意見交換会を開催し、この計画の総論とそれに基づいた具体的な取組について、村民と意見交換をおこなってまいります。

詳細な検討を踏まえて、具体的な事業内容をまとめます。

平成22年度末、つま

り来年の今頃には、片品村教育振興基本計画の策定に至りたいと考えております。

**問** 同計画における片品らしさは。

**答** 片品らしさという点では、今の課題である子供の学ぶ環境づくりをしっかりと整えていくことが、まず一番の特徴かと思えます。

それから、片品の良き風土というものをこれから継承していく中で、子供たちがしっかりと郷土を愛する心を育んでいくということもその特徴ではないかと考えております。

**問** それに伴って、ハートフル事業と山村留学の推進の考えは。

**答** (山村留学など)の

趣旨は分かりませんが、具体的なその可能性について、今ここで言及することはできません。また(ハートフルなどをストリートにそのまま義務教育の子供たちに適用できるかどうか

ということですが、それには検討の余地があるのではないかと考えております。





# ◆ 第2回 議会臨時会開催

期日平成22年4月7日

## ◎片品村税条例の一部改正

地方税法の一部が法律第4号で公布されたことをうけ本年6月1日施行に伴い条例の一部を改正しました。

(全員賛成)

## ◎片品村国民健康保険条例の一部改正

地方税法の一部改正をうけ租税条約の実施に伴い所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律の改正に伴う規定の整備で法律の題名及び略称の改正と施行期日を6月1日にするものです。

(全員賛成)

## ◎工事請負契約の締結

### \* 契約の目的

土出地区・戸倉地区地域情報通信基盤整備

### \* 契約の方法

公募型プロポーザルによる随意契約事業

### \* 契約金額

102,375,000円

### \* 契約の相手方

株式会社 NTT東日本群馬

### \* 工期

契約の日から平成23年3月31日まで

(全員賛成)



光ファイバー敷設となるNTT土出交換局

## ◎専決処分承認

### \* 片品村税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う一部改正です。

(全員賛成)

### \* 片品村国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令等の一部改正に伴い国民健康保険税及び後期高齢者支援金等の課税限度額引き上げなどが主な改正です。

(全員賛成)

### \* 片品村過疎対策のための村税(固定資産税)の課税の特例に関する条例の一部改正

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴う改正(全員賛成)

こんな質疑がありました

### 質疑 (笠原耕作議員)

以前の光ファイバー片品基地局設置との違いと村が保守管理すると聞くが、費用はどの程度かかるのか聞きたい。

### 答 (総務課長)

既設と今回設置の違いですが、既設の施設は、設置・管理共にNTTが行っています。今回の施設は村が設置し、管理はNTTが行うと云うもので費用については今のところ不明とのことです。

### 質疑 (大竹文夫議員)

今回設置の1億数百万円余りの費用の内訳をお聞きしたい。

### 答 (総務課長)

事業費の負担割合については、国が1/3で残り2/3の内90%を臨時交付金を充てていまして10%を村持ちでお願ひしたい。

### 質疑 (星野侃三議員)

前回光ファイバー設置の時、戸別の勧誘電話なりの苦情が多くあったと聞くが今回はどの様に対応するのか。

### 答 (総務課長)

加入申込み時の勧誘等ということでの対応ですが、前回の勧誘は今のところ考えておりません。

## 参考

### 公募型プロポーザル

事業者の選定方法の一種で、事業の提案を公募し提出された提案書について、募集要項等であらかじめ示された評価基準に基づき審査を行い、最も優れていると認められる提案書の提出者と契約を締結する方法。

形式としては随意契約に該当するため、地方自治体が発注する場合には、地方自治法上の随意契約の要件を満たす必要があります。



## 議会活動日誌

### 2月

- 3 議員スキー教室
- 17 片品村上下水道運営協議会
- ” 片品村学校給食センター運営委員会
- ” 片品村営観光施設事業運営委員会
- ” 片品村国民健康保険運営協議会
- ” 片品村介護保険運営協議会
- 19 尾瀬クリーンセンター全員協議会
- ” 尾瀬クリーンセンター議会定例会
- 23 議会運営委員会
- ” 議会全員協議会

### 3月

- 2 片品村有害鳥獣被害防止対策協議会総会
- 3 「かたしなの特色ある教育活動」交流会
- 4 3月定例会(開会)
- ” 予算説明(本会議終了後)
- 5 予算説明
- 8 予算説明
- 10 総務文教常任委員会
- ” 観光産業常任委員会
- ” 議会と区長との懇談会
- 12 片品中学校卒業式
- ” 3月定例会(閉会)
- 23 尾瀬文学賞俳句大会実行委員会総会

- 24 金精道路開通前調査
- 25 小学校卒業式
- 29 保育所卒園式

### 4月

- 5 保育所入園式
- 7 小学校入学式
- ” 中学校入学式
- ” 臨時会
- 23 金精道路開通セレモニー
- 26 十日町市クロカンコース視察

### ◎訂正

前123号9ページの参考資料片品村基金等比較の表中、平成20年度総合計が11億6,380万6千円となっておりましたが、11億3,819万3千円に訂正します。

## お知らせ

次回定例会  
6月8日(火)～14日(月)の予定です。  
一般質問は、8日の予定です。

みなさんの傍聴を  
お待ちしております。

問い合わせ  
TEL 58-2119

議会だより・会議録がホームページで見られます。  
URL: <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

## 編集後記

三寒四温と言われる春の訪れ、片品村にも順次花の開花が続いて過ごしやすい季節ですが、村民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

村の新年度予算も決まり、新しい体制もできてスタートした平成22年度、より良い村づくりに議会と村当局そして村民の皆様と智慧を出し合って取り組んでいきましょう。

昨年は、深刻な不況を打開するべく国が各自治体に臨時に配分交付されたお金で予定外に2億円余りの事業が行われ長い間各区、地域から要望されていた事業や検討されていなかった仕事もなされましたが、今年はどうでしょうか。

新政権の政策が本村にどう影響を与えるか、考えながら片品村がどういうことに取り組むべきか、議論していきたいと思えます。

村民の皆様が本年度も健康で活躍されることをお祈りして後記とします。

【萩原 日郎記】

発行

片品村議会

発行責任者

入澤 登喜夫

編集委員

◎◎ 萩原 日郎  
◎ 星野 育雄  
◎ 飯塚 美三  
◎ 笠原 耕明  
◎ 戸丸 廣安

印刷

笠原印刷有限公司